



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年5月12日

上場会社名 株式会社 共和コーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 6570 URL <https://www.kyowa-corp.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮本 和彦  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長兼経理部長 (氏名)戸田 慎也 (TEL) 026(227)1301  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月23日 配当支払開始予定日 2023年6月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	12,444	19.8	717	161.3	711	150.1	432	235.7
2022年3月期	10,385	—	274	—	284	—	128	—

(注) 包括利益 2023年3月期 417百万円(195.8%) 2022年3月期 140百万円(—%)

(注) 2022年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2022年3月期の対前期増減率は記載しておりません。

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	72.67	72.41	13.3	5.6	5.8
2022年3月期	21.90	21.77	4.2	2.4	2.6

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	13,281	3,404	25.6	571.95
2022年3月期	12,089	3,090	25.6	519.23

(参考) 自己資本 2023年3月期 3,404百万円 2022年3月期 3,090百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	2,552	△2,180	△698	4,144
2022年3月期	1,592	△1,932	528	4,470

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	8.50	—	9.00	17.50	103	79.9	3.4
2023年3月期	—	8.50	—	9.00	17.50	104	24.1	3.2
2024年3月期(予想)	—	8.50	—	9.00	17.50		23.5	

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,722	12.0	308	△24.6	302	△20.7	181	△14.4	30.47
通期	13,625	9.5	735	2.6	721	1.4	442	2.3	74.34

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	6,080,130株	2022年3月期	6,080,130株
② 期末自己株式数	2023年3月期	126,917株	2022年3月期	127,600株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	5,953,283株	2022年3月期	5,884,420株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	12,244	18.6	736	134.8	733	126.3	432	236.7
2022年3月期	10,321	△3.6	313	1,221.2	324	△25.2	128	—

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
2023年3月期	72	72	72	45
2022年3月期	21	85	21	73

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2023年3月期	13,253		3,404		25.7	571	95	
2022年3月期	12,075		3,090		25.6	519	19	

(参考) 自己資本 2023年3月期 3,404百万円 2022年3月期 3,090百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束するものではありません。また実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P3「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループの主力事業でありますアミューズメント施設運営事業におきましては、年間を通して景品ゲームジャンルが好調に推移いたしました。上半期は新型コロナウイルス新規感染者の増加等により多少の影響を受けたものの、下半期に向けてその影響は徐々に薄れ、売上高はコロナ禍前の2019年度を上回る水準で伸ばいたしました。

コスト面におきましては、年間を通してエネルギーコスト高騰の影響を多大に受けましたが、それを上回る売上高の伸長がコスト増を吸収し、結果、過去最高の営業利益、経常利益を達成いたしました。

以上の結果、当連結会計年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の当社グループの業績は、売上高は12,444,341千円（前年同期比19.8%増）、営業利益は717,192千円（前年同期比161.3%増）、経常利益は711,941千円（前年同期比150.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は432,649千円（前年同期比235.7%増）となりました。

当連結会計年度における、セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### ① アミューズメント施設運営事業

アミューズメント施設運営事業におきましては、「明るい・安心・三世代」をテーマに、清潔な店舗づくりと丁寧な接客に取り組んでまいりました。

また、アミューズメント業界全体における景品ゲーム人気の高まりを好機と捉え、景品ゲーム機の大幅な増台やバラエティ感溢れる景品の充実に注力してまいりました。

さらに「アピナ公式アプリ」を利用した情報発信や特典配信等による来店促進施策を実施し、ご来店いただいたお客様向けのイベント等も積極的に開催することで、より一層お楽しみいただける店舗運営にも取り組んでまいりました。

店舗数につきましては、7月に愛知県で2店舗目となる「アピナ蒲郡店」を出店し、10月には中国エリア初となる「アピナ東広島店」を、また12月には山口県初となる「アピナ徳山店」を出店したことで、期末時点の総店舗数は3店舗増の59店舗となりました。

以上の結果、アミューズメント施設運営事業における売上高は11,787,051千円（前年同期比17.5%増）、セグメント利益(営業利益)は1,166,533千円（前年同期比47.5%増）となりました。

#### ② アミューズメント機器販売事業

アミューズメント機器販売事業におきましては、アミューズメント業界全般で景品ゲームが好調なこともあり、景品ゲーム機及び景品の需要が増加しております。景品販売においては、ぬいぐるみやフィギュア、生活雑貨等、多岐にわたるジャンルが堅調に推移し、さらにスクイーズを使用したオリジナル景品等の販売も積極的に実施してまいりました。

以上の結果、アミューズメント機器販売事業における売上高は309,625千円（前年同期比75.9%増）、セグメント利益(営業利益)は200,014千円（前年同期比80.8%増）となりました。

#### ③ その他事業

その他事業とは、主に各種媒体を利用した広告代理店業や、当社グループが所有する不動産の賃貸業、並びに子会社である株式会社ブルームの商品販売等であります。広告代理店業は新規顧客の獲得に向けた営業に注力し、売上高が大幅に増加いたしました。株式会社ブルームは、オリジナル商品を中心に国内外への販売に注力するとともに、商業施設内へのポップアップ・ストアを展開することで、認知度アップにも取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は347,664千円（前年同期比92.2%増）、セグメント損失(営業損失)は20,960千円（前年同期はセグメント損失44,963千円）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して1,192,461千円増加し、13,281,603千円となりました。この要因は、アミューズメント機器（純額）が727,565千円、商品が503,069千円増加した一方、現金及び預金が増加した一方で、326,289千円減少したこと等によるものであります。

## (負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して878,238千円増加し、9,876,641千円となりました。この要因は、支払手形及び買掛金が796,003千円、1年内返済予定の長期借入金が409,853千円増加した一方、長期借入金が1,000,224千円減少したこと等によるものであります。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して314,222千円増加し、3,404,962千円となりました。この要因は、利益剰余金が328,445千円増加したこと等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結年度末に比べて326,281千円減少し、4,144,548千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は2,552,330千円(前期比60.2%増)となりました。これは主に減価償却費1,384,131千円、仕入債務の増加954,718千円、税金等調整前当期純利益692,798千円等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は2,180,333千円(前期は1,932,036千円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得2,054,809千円等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は698,278千円(前期は528,537千円の獲得)となりました。これは主に長期借入れによる収入900,000千円がありましたが、長期借入金の返済による支出1,490,371千円等があったことによるものです。

## (4) 今後の見通し

## (アミューズメント施設運営事業)

「明るい・安心・三世代」をテーマに、清潔な店舗づくりと丁寧な接客を継続して実施し、お客様が安心してお楽しみいただける店舗運営を心がけてまいります。また、最新のアミューズメント機器購入等の設備投資を進めるとともに、オリジナル景品の製作等にも積極的に取り組み、他社との差別化を推進してまいります。

店舗開発につきましては情報収集と現地調査を十分に実施し、新規出店を積極的に推進してまいります。

## (アミューズメント機器販売事業)

売上が好調な景品ゲーム機や景品の販売を柱とし、新規取引先の開拓や既存顧客への販売拡大を推進してまいります。

## (その他事業)

広告代理店業につきましてはデジタル広告等の提案・販売に力を入れてまいります。

子会社の株式会社ブルームは、自社オリジナル製品の企画・製作を推進し、直営店舗やECサイト等での販売に注力してまいります。

※本資料における予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであります。予想に内在する様々な不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご承知おきください。

## (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

財務諸表は、会社法上の分配額の計算や法人税法上の課税所得の計算においても利用されることに鑑み、当社グループは日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,896,137	4,569,848
売掛金	477,134	654,207
有価証券	200,000	200,000
商品	116,899	619,968
貯蔵品	186,580	172,159
その他	320,534	322,940
流動資産合計	6,197,286	6,539,123
固定資産		
有形固定資産		
アミューズメント機器 (純額)	1,848,602	2,576,167
建物及び構築物 (純額)	1,243,089	1,290,748
工具、器具及び備品 (純額)	187,753	209,459
土地	857,977	857,977
その他 (純額)	30,171	53,907
有形固定資産合計	4,167,594	4,988,259
無形固定資産		
その他	48,601	45,382
無形固定資産合計	48,601	45,382
投資その他の資産		
投資有価証券	154,325	141,843
繰延税金資産	46,781	44,391
敷金及び保証金	1,260,362	1,326,115
その他	229,592	211,890
貸倒引当金	△15,402	△15,402
投資その他の資産合計	1,675,660	1,708,838
固定資産合計	5,891,856	6,742,480
資産合計	12,089,142	13,281,603

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	918,025	1,714,028
1年内返済予定の長期借入金	1,406,795	1,816,648
未払金	917,172	1,040,830
未払法人税等	82,697	231,520
資産除去債務	26,848	—
賞与引当金	64,540	87,458
その他	245,119	598,522
流動負債合計	3,661,199	5,489,007
固定負債		
長期借入金	4,821,300	3,821,076
資産除去債務	513,207	563,267
その他	2,696	3,290
固定負債合計	5,337,203	4,387,633
負債合計	8,998,402	9,876,641
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	709,709	709,709
資本剰余金	505,621	504,832
利益剰余金	1,863,682	2,192,127
自己株式	△48,125	△45,925
株主資本合計	3,030,887	3,360,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,852	44,218
その他の包括利益累計額合計	59,852	44,218
純資産合計	3,090,739	3,404,962
負債純資産合計	12,089,142	13,281,603



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	10,385,805	12,444,341
売上原価	4,608,646	5,576,840
売上総利益	5,777,159	6,867,501
販売費及び一般管理費	5,502,691	6,150,309
営業利益	274,468	717,192
営業外収益		
受取利息	1,475	1,214
受取配当金	1,897	2,966
太陽光売電収入	6,214	5,769
自販機設置協賛金	4,229	4,609
補助金収入	18,713	3,481
受取補償金	8,450	181
その他	4,248	8,760
営業外収益合計	45,228	26,983
営業外費用		
支払利息	26,549	26,311
その他	8,445	5,922
営業外費用合計	34,994	32,234
経常利益	284,701	711,941
特別損失		
減損損失	48,014	—
固定資産除却損	9,303	—
臨時休業による損失	11,761	—
出資金評価損	—	18,391
その他	—	751
特別損失合計	69,079	19,142
税金等調整前当期純利益	215,622	692,798
法人税、住民税及び事業税	100,041	250,911
法人税等調整額	△13,283	9,238
法人税等合計	86,757	260,149
当期純利益	128,865	432,649
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	128,865	432,649

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	128,865	432,649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,114	△15,633
その他の包括利益合計	12,114	△15,633
包括利益	140,979	417,015
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	140,979	417,015
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	709,709	502,619	1,838,148	△52,108	2,998,368
当期変動額					
剰余金の配当			△103,331		△103,331
親会社株主に帰属する当期純利益			128,865		128,865
自己株式の取得				△28,746	△28,746
自己株式の処分		3,002		32,729	35,732
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	3,002	25,533	3,982	32,518
当期末残高	709,709	505,621	1,863,682	△48,125	3,030,887

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	47,738	47,738	3,046,106
当期変動額			
剰余金の配当			△103,331
親会社株主に帰属する当期純利益			128,865
自己株式の取得			△28,746
自己株式の処分			35,732
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	12,114	12,114	12,114
当期変動額合計	12,114	12,114	44,632
当期末残高	59,852	59,852	3,090,739

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	709,709	505,621	1,863,682	△48,125	3,030,887
当期変動額					
剰余金の配当			△104,204		△104,204
親会社株主に帰属する当期純利益			432,649		432,649
自己株式の取得				△40	△40
自己株式の処分		△789		2,241	1,452
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△789	328,445	2,200	329,856
当期末残高	709,709	504,832	2,192,127	△45,925	3,360,743

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	59,852	59,852	3,090,739
当期変動額			
剰余金の配当			△104,204
親会社株主に帰属する当期純利益			432,649
自己株式の取得			△40
自己株式の処分			1,452
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△15,633	△15,633	△15,633
当期変動額合計	△15,633	△15,633	314,222
当期末残高	44,218	44,218	3,404,962

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	215,622	692,798
減価償却費	1,181,139	1,384,131
のれん償却額	16,409	—
減損損失	48,014	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△37,160	—
受取利息及び受取配当金	△3,372	△4,181
支払利息	26,549	26,311
売上債権の増減額 (△は増加)	225,254	△188,719
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△94,698	△482,472
仕入債務の増減額 (△は減少)	20,618	954,718
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,191	22,917
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	18,391
有形固定資産除却損	9,303	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△48,768	36,710
その他	156,124	224,540
小計	1,709,845	2,685,147
利息及び配当金の受取額	1,966	3,022
利息の支払額	△26,710	△26,102
法人税等の支払額	△92,657	△109,737
法人税等の還付額	480	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,592,924	2,552,330
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,726,287	△2,054,809
投資有価証券の取得による支出	△20,000	△10,000
無形固定資産の取得による支出	△20,074	△7,873
資産除去債務の履行による支出	△2,319	△9,172
定期預金の預入による支出	△980,708	△551,800
定期預金の払戻による収入	921,200	551,808
事業譲受による支出	△70,000	—
保険積立金の積立による支出	△12,441	△12,441
敷金及び保証金の差入による支出	△98,154	△97,614
敷金及び保証金の回収による収入	76,355	10,341
その他	394	1,229
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,932,036	△2,180,333
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	2,100,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△1,439,384	△1,490,371
リース債務の返済による支出	△2,844	△2,844
割賦債務の返済による支出	△3,182	△2,273
ストックオプションの行使による収入	6,050	1,452
自己株式の取得による支出	△28,746	△40
配当金の支払額	△103,354	△104,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	528,537	△698,278
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	189,424	△326,281
現金及び現金同等物の期首残高	4,281,404	4,470,829
現金及び現金同等物の期末残高	4,470,829	4,144,548

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源配分の決定や、業績を評価するために定期的に点検を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社及び当社の連結子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「アミューズメント施設運営」及び「アミューズメント機器販売」の2つの事業を報告セグメントとしております。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「アミューズメント施設運営」は、アミューズメント施設の運営を行っております。

「アミューズメント機器販売」は、アミューズメント関連機器等の販売を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額 (注3)
	アミューズ メント施設 運営	アミューズ メント機器 販売	計				
売上高							
北海道	88,325	—	88,325	—	88,325	—	88,325
東北	570,406	—	570,406	—	570,406	—	570,406
関東	3,284,247	176,006	3,460,253	65,923	3,526,177	—	3,526,177
甲信越	3,203,406	—	3,203,406	110,573	3,313,980	—	3,313,980
北陸	758,001	—	758,001	—	758,001	—	758,001
東海	1,537,766	—	1,537,766	—	1,537,766	—	1,537,766
近畿	511,486	—	511,486	—	511,486	—	511,486
その他(注4)	75,303	—	75,303	—	75,303	—	75,303
顧客との契約から生 じる収益	10,028,944	176,006	10,204,950	176,497	10,381,447	—	10,381,447
その他の収益	—	—	—	4,357	4,357	—	4,357
外部顧客への売上高	10,028,944	176,006	10,204,950	180,854	10,385,805	—	10,385,805
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	3,342	3,342	△3,342	—
計	10,028,944	176,006	10,204,950	184,197	10,389,148	△3,342	10,385,805

セグメント利益 又は損失(△)	791,105	110,624	901,729	△44,963	856,766	△582,298	274,468
セグメント資産	6,205,453	490,982	6,696,436	247,885	6,944,321	5,144,821	12,089,142
その他の項目							
減価償却費	1,141,840	25	1,141,866	2,835	1,144,701	32,312	1,177,014
のれんの償却費	—	—	—	16,409	16,409	—	16,409
減損損失	48,014	—	48,014	—	48,014	—	48,014
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	1,907,164	2,890	1,910,054	164,239	2,074,293	25,903	2,100,197

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店事業並びに玩具、雑貨等の企画、開発及び販売等の事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△582,298千円は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額5,144,821千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産の主なものは、報告セグメントに帰属しない現金及び預金であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額25,903千円は本社に係る設備投資額であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他」は、各店舗に設置した自動販売機の受取手数料等の金額であります。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額 (注3)
	アミューズ メント施設 運営	アミューズ メント機器 販売	計				
売上高							
北海道	122,667	—	122,667	—	122,667	—	122,667
東北	787,690	—	787,690	—	787,690	—	787,690
関東	3,401,654	309,625	3,711,280	201,766	3,913,046	—	3,913,046
甲信越	3,511,086	—	3,511,086	134,416	3,645,502	—	3,645,502
北陸	840,639	—	840,639	—	840,639	—	840,639
東海	2,289,696	—	2,289,696	—	2,289,696	—	2,289,696
近畿	619,972	—	619,972	—	619,972	—	619,972
中国	140,932	—	140,932	—	140,932	—	140,932
その他(注4)	72,712	—	72,712	—	72,712	—	72,712
顧客との契約から生 じる収益	11,787,051	309,625	12,096,677	336,183	12,432,860	—	12,432,860
その他の収益	—	—	—	11,480	11,480	—	11,480
外部顧客への売上高	11,787,051	309,625	12,096,677	347,664	12,444,341	—	12,444,341
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	9,952	9,952	△9,952	—
計	11,787,051	309,625	12,096,677	357,616	12,454,294	△9,952	12,444,341

セグメント利益 又は損失(△)	1,166,533	200,014	1,366,547	△20,960	1,345,586	△628,394	717,192
セグメント資産	7,191,173	1,164,211	8,355,385	306,380	8,661,765	4,619,838	13,281,603
その他の項目							
減価償却費	1,339,030	4,216	1,343,247	8,202	1,351,449	32,681	1,384,131
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	2,148,972	14,302	2,163,275	2,687	2,165,962	39,217	2,205,180

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店事業並びに玩具、雑貨等の企画、開発及び販売等の事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△628,394千円は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額4,619,838千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産の主なものは、報告セグメントに帰属しない現金及び預金であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額39,217千円は本会社に係る設備投資額であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他」は、各店舗に設置した自動販売機の受取手数料等の金額であります。

#### (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	519.23円	571.95円
1株当たり当期純利益	21.90円	72.67円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	21.77円	72.41円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たりの当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	128,865	432,649
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	128,865	432,649
普通株式の期中平均株式数(株)	5,884,420	5,953,283
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
普通株式増加数(株)	34,061	22,099
(うち新株予約権(株))	34,061	22,099
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

#### (重要な後発事象)

該当事項はありません。